

第2章 下田市の維持向上すべき歴史的風致

歴史まちづくり法第1条で定義される歴史的風致とは、「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われている歴史的価値の高い建造物及びその周辺の市街地が、一体となって形成してきた良好な市街地の環境」である。そのため、下記の①～③の条件をすべて備えていることが、歴史的風致の前提条件といえる。

- ①: 地域に固有の歴史や伝統を反映した活動が行われていること
- ②: ①の活動が、歴史的価値の高い建造物とその周辺で行われていること
- ③: ①の活動と②の建造物が、一体となって良好な市街地環境を形成していること

本市域では、下田港周辺の市街地や山間部、海岸部において、地域独自の歴史や文化、伝統行事や伝統産業を見ることができる。

江戸時代に町として発展した旧下田町^{きゅうしも だまち}は、御番所の設置によりまちなみが整備され、現在においても、伊豆石やなまこ壁が使われた歴史的建造物が多く見られる。下田八幡神社では、そうしたまちなみを背景に「下田八幡神社例大祭（愛称：下田太鼓祭り）」が行われ、良好な環境が形成されている。また、幕末の日本開国の舞台となった下田港周辺では、了仙寺^{りょうせん じ}や玉泉寺^{ぎよくせん じ}などの歴史上重要な史跡を核に「黒船祭」^{くろふねさい}が開催されている。

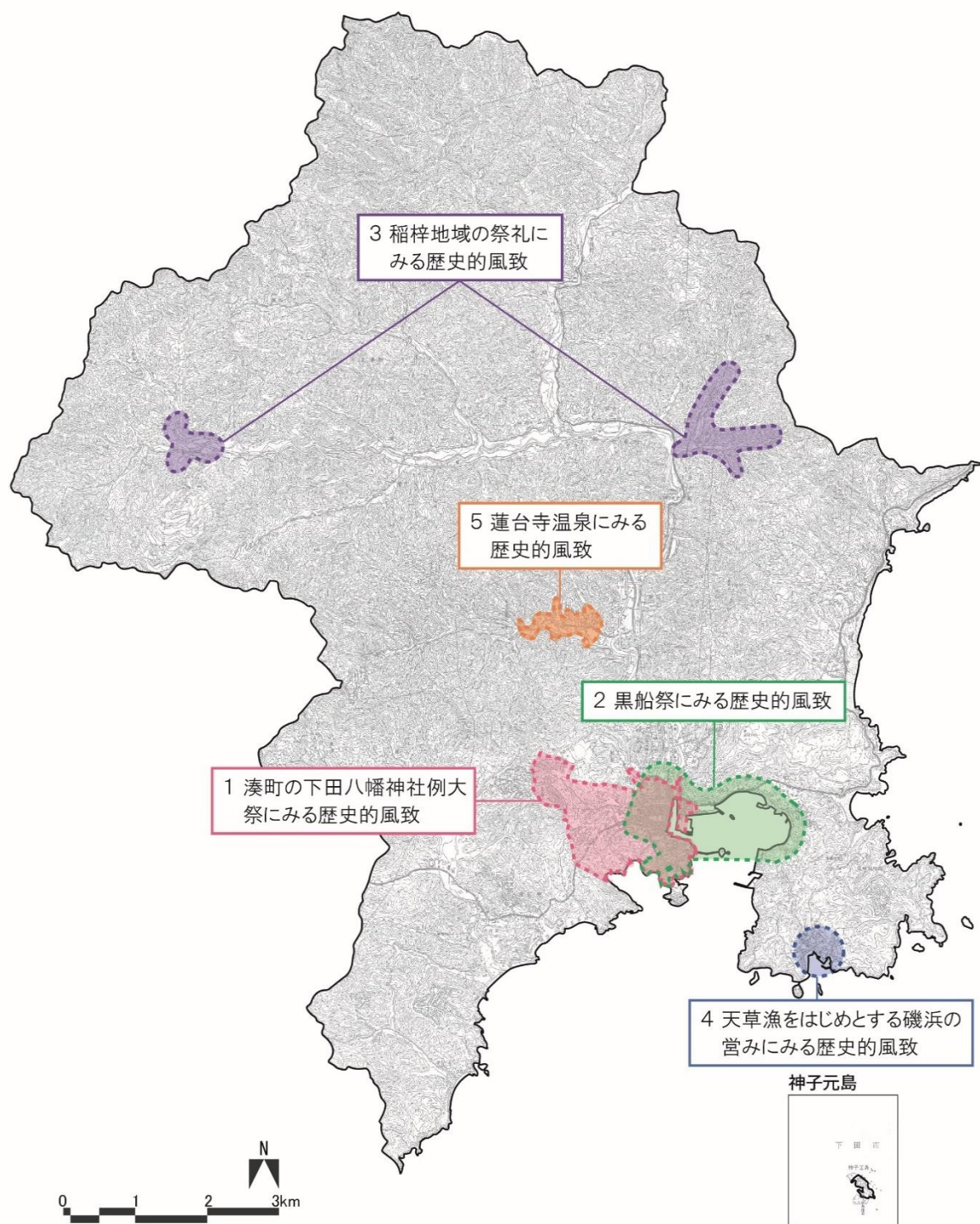
山間部の稲梓地域では、報本寺^{ほうほん じ}の山随院権現祭幡廻し^{さんずいいん こんげんさいはたまわ}や高根白山神社^{はくさん おびしゃ}の鬼射といった伝統的な祭礼が継承され、各地区の氏神である神社を中心に良好な環境が形成されている。

海岸部の浜崎や白浜地域では、古くから天草漁の漁法や天草を乾燥させる技法などが産業として引き継がれ、特徴ある生業の風景を生み出している。

温泉地である蓮台寺地区では、「湯権現例祭」^{ゆ こんげん}や「天神神社秋季例祭」といった神事や祭礼が行われ、良好な環境が形成されている。

以上のことから、本市が維持向上すべき歴史的風致は、次の5つに整理することとした。

- 1 湊町の下田八幡神社例大祭にみる歴史的風致
- 2 黒船祭にみる歴史的風致
- 3 稲梓地域の祭礼にみる歴史的風致
- 4 天草漁をはじめとする磯浜の営みにみる歴史的風致
- 5 蓮台寺温泉にみる歴史的風致



下田市の歴史的風致